

# 停電・断水時の対応

## 停電や断水になったら

- 停電や断水になると便器の水を流せなくなります。状況に合わせて次の方法で対応してください。

### 停電になったら

#### 停電したときの便器洗浄のしかた

- 便器に向かって右側のすっきりパネルをはずし、便器洗浄つまみを操作して水を流してください。

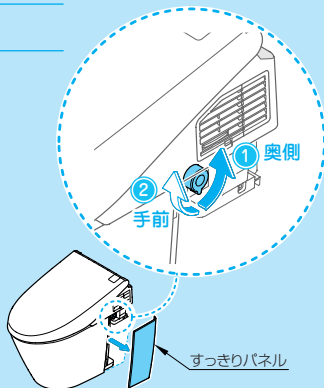
すっきりパネル取りはずし・取り付けかたは [15.51, 52ページ](#)

#### 1 便器洗浄つまみを2秒以上奥側に回す

便器洗浄（大洗浄）します。

#### 2 水が流れ終わったら、つまみを手前に回す

便器内に水を溜めます。



### 断水になったら

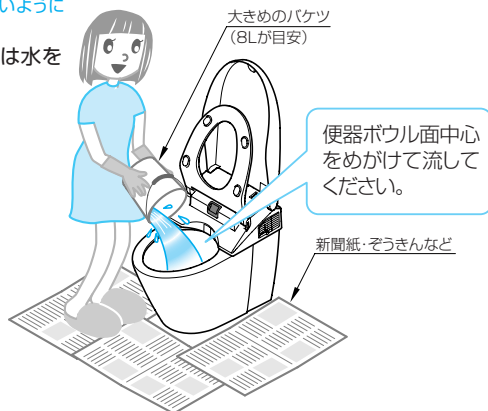
- 断水になったらオート洗浄の設定を「切」にしてください。

オート洗浄を使わないときは [31, 32ページ](#)

- 大きめのバケツに水を入れ（8Lが目安）、便器ボウル面の中心をめがけて流してください。このとき、便器ボウルから水があふれないように注意してください。

- 便器の周りに新聞紙などを置き、床をぬらさないようにしてください。

- 流した後、便器ボウル面の水位が低くなった場合は水をつぎ足してください。便器配管からのにおいを防げます。



# 凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

処置しましょう！

## 1 凍結が予想される時

- 凍結が予想される時 節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

タイマー節電をやめるときは [40ページ](#)

おまかせ節電をやめるときは [42ページ](#)

スーパーおまかせ節電をやめるときは [42ページ](#)

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

便器の種類は [69ページ](#)

### ご注意

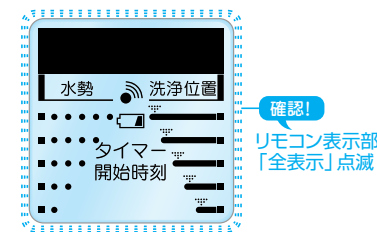
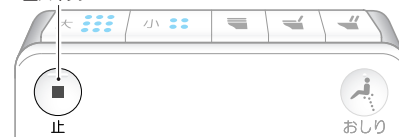
凍結予防の作業前には、**オート機能**、**入切**、**入切**、**入切** を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

## 凍結予防のしかた（流動方式）

- 便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

### 1 リモコンの **止** を10秒以上押す

- リモコン表示部がすべて点滅します。

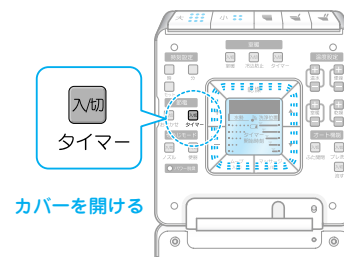


### 2 リモコンのカバーを開けて

**節電**、**入切** を押す

- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

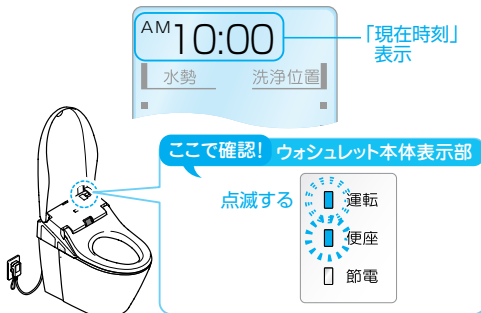
- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると、「切」のときは「ピーッ」という電子音が鳴ります。



### ③ リモコンのカバーを閉めてもう一度 を押す

凍結の予防を開始します。  
(時計表示に戻ります。)

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯から点滅に変わります。
- ノズルが収納したままでノズル付近から約50mlの温水が5分間隔で出ます。
- 便器の水が10分間隔で流れます。



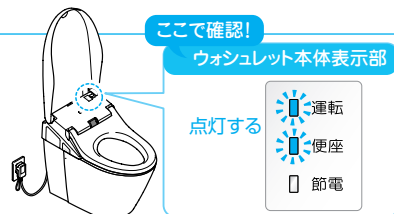
### 凍結予防を確実にを行うには…

- リモコンの温水温度を40℃、便座温度を「高」に設定してください。
- 便ふたを必ず閉めてください。

### 凍結予防をやめるとき(流動方式)

- 凍結予防をやめるときは「凍結予防のしかた」と同じ操作を行ってください。
- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点滅から点灯に戻ります。

凍結予防のしかたは55ページ





### 凍結予防のしかた(ヒータ付便器・水抜併用方式)

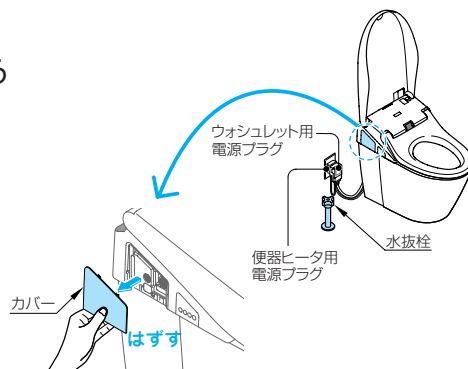
### ① 水抜き栓を操作して、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。

### ② 配管の水を抜く


#### ① カバーをはずす

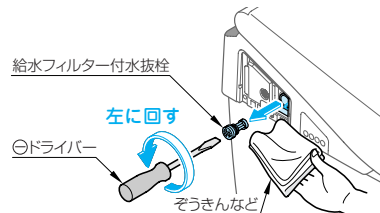
-  を押し、ノズルを伸出させた後、もう一度  を押してください。  
(給水管内の圧抜きです。)



#### ② 給水フィルター付水抜き栓を ドライバーでゆるめた後、引っ張ってははずす


#### △ 注意

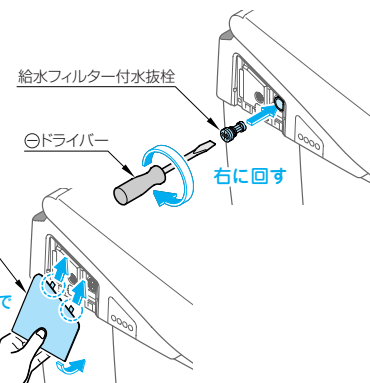
-  水抜き栓を開けたままで、給水フィルター付水抜き栓をはずさない
- 水が噴き出します。



### ③ 水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜き栓を押し込み、 ドライバーで確実に締める

#### △ 注意

-  給水フィルター付水抜き栓は確実に締める
- 確実に締めないと水漏れの原因になり必ず守ります。



### ④ カバーを取り付ける



### ③ ノズル内の水を抜く

#### ① リモコンの を押す

ノズル

#### ② 水抜きが終わったら、もう一度 を押す(ノズルを元に戻します。)

ノズル



### ④ ウォシュレット内を保温する

#### ① ウォシュレット本体操作部の が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度設定を「高」にする

#### ② 便ふたを閉める

**アドバイス** ● ヒータ付便器は室温が5℃以下になると自動でヒータが入ります。




### 水抜き後に再通水するとき

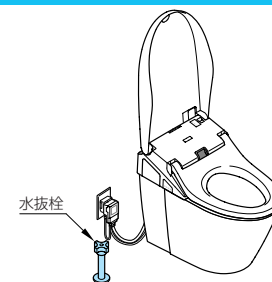
### ① 水抜き栓を操作して、給水する

※配管や本体から水漏れしていないことを確認する

### ② ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押してノズルから2分間吐水させます。(吐水は紙コップなどで受けてください。)

**アドバイス** ● 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたたため、お湯に濡した布で給水ホース及び止水栓をあたたためてください。



如題しましょう!

### ②: 長期間使わないときの処置

- 水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。また、製品が破損するおそれがありますので水抜きを行ってください。

#### **アドバイス** [水抜きをしましょう]

- 冬季に備省されるとき
- 別荘などで使用されるとき
- 水抜きをしましょう! 冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

## 水抜きのみ

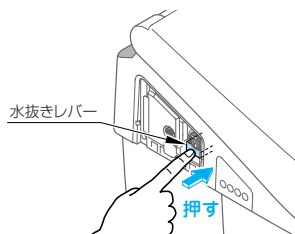
① 止水栓を閉める（流動方式の場合）または、水抜き栓を操作して、給水を止める（ヒータ付便器・水抜き併用方式の場合）  
※止水栓は開けたままにしておいてください。

② 配管の水を抜く [56ページ](#)  
※水を抜いた後、カバーははずした状態にしておいてください。

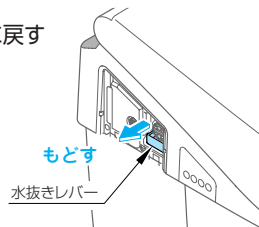
③ ノズル内の水を抜く [57ページ](#)

④ ウォシュレット内の水を抜く

① 水抜きレバーを押し続ける  
●ウォシュレット本体下側から水（40ml程度）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約10秒かかります。



② 手を離し、水抜きレバーを元に戻す



③ カバーを取り付ける



⑤ 電源プラグを抜く

⑥ 便器の溜水を処置する

**アドバイス** ●便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。


## 水抜き後に再通水するとき

① 止水栓を開ける、または水抜き栓を操作して給水する

※配管や本体から水漏れしていないことを確認する

② 電源プラグをコンセントに差し込む

③ ノズルから吐水させる

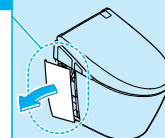
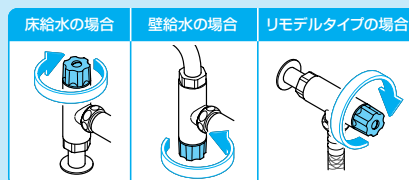
●着座センサーを白紙でおおい、リモコンの  を押してノズルから2分間吐水させます。  
（吐水は紙コップなどで受けてください。） おしり

# 故障かな!?と思ったら

故障かな!?と思ったらまずこの章をご覧ください。処置方法をためてみてください。それでも直らないときは、お取付店、販売店または東陶メンテナンス（株）にご相談ください。

## 注意

**!** 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める。必ず守る。



修理を依頼する前に次のことを確認してください。

## 最初に確認するポイント

### ウォシュレット本体表示部のランプを確認してください

●運転ランプが点灯していますか。 [15ページ](#)をご覧ください。

運転ランプが点灯している場合

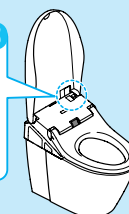
「リモコンが作動するかどうか確認してください」にお進みください。

※電源プラグを入れて（または、電源プラグの「入（リセット）」ボタンを押して）約10秒～約1分間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。（やわらかライトが点滅してお知らせします。）リモコンで操作してください。

ここで確認!

ウォシュレット本体表示部

点灯する



運転ランプが点灯していない場合

●運転ランプは点灯せずに、他のランプが点灯していますか。

●他のランプが点灯しているとき→節電中の可能性があります。 [38ページ](#)をご覧ください。

●他のランプが消灯しているとき→凍結予防運転中の可能性があります。 [55ページ](#)をご覧ください。

●すべてのランプが消灯していますか。

→右の順序で運転ランプが点灯するか確認してください。

①電源プラグの「入（リセット）」ボタンを押してください。 ②ウォシュレット本体操作部の運転スイッチを押してください。  
③停電やブレーカーが切れていませんか。停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカーを「入」にしてください。

### リモコンが作動するかどうか確認してください

●リモコンの液晶画面の表示がすべて消えていますか。

→乾電池が正しく入っているか確認してください。

●液晶画面に「」が点灯していますか。

→乾電池が消耗していれば新しい乾電池に交換してください。 [13ページ](#)をご覧ください。

●リモコン送信部や受信部がおおわれていたり、ゴミや水滴などの汚れが付着していませんか。

→リモコン送信部や受信部の位置を確認して、障害物や汚れを取り除いてください。 [12ページ](#)をご覧ください。

上記確認の後、次のページからの「該当する現象について確認してください。」にお進みください。